

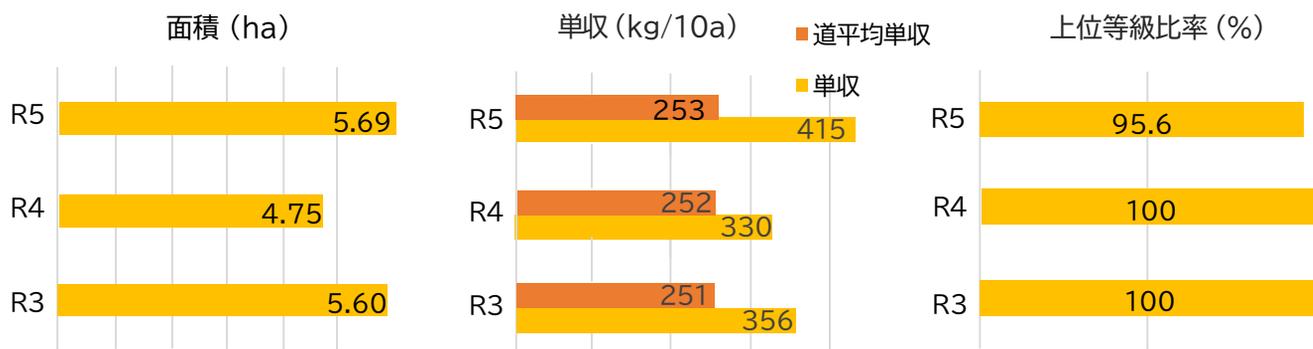
徹底した土づくりと畑かんを利用した散水で道平均を上回る単収を実現

臼井 富高

北海道斜里郡小清水町

基幹作物 大豆4.08ha(品種名:とよまどか)、小麦12.11ha、てん菜、種子用馬鈴しょ
特徴 約20年前より種子生産に取り組み、堆肥の投入、緑肥の作付など土作りを徹底。近年の高温、干ばつへの対応として、畑かんを利用した着花期の散水を実施。自動操舵システムを活用したスマート農業により作業を効率化している。

大豆生産状況



注)R3,R5面積は「とよみづき」を含む。

栽培上の特色

- 多収化・高品質化・・・①堆肥の投入、緑肥の野生種えん麦の作付けやアップカットロータリーでの丁寧な整地による土づくりを徹底。
②近年多発している高温、干ばつへの対応として、必要に応じ、畑かんを利用した着花期の散水を実施。
- 省力化・・・地域一帯となってスマート農業の導入に取り組んでおり、臼井氏自身も自動操舵システムをトラクタ4台に搭載し、耕起から播種作業を効率化。

地域農業への貢献

- 地区委員を務める豆類対策委員会において、収穫時の上限水分の設定やフェロモントラップを用いたマメシンクイガの発生予察を行っている。
- 約20年前から種子生産を継続し、大豆、小豆採種組合の組合長として地域の豆類作付けを牽引し、地域が要望している品種試験や狭畦栽培試験など新技術の導入に積極的かつ責任感をもって取り組むことで、小清水町の大豆面積拡大および多収の実現に貢献している。

販売・消費拡大への取り組み

- 豆類対策委員会において契約先へ出向き、ユーザーとの繋がりや情報交換を大切に、需要に応じた小豆生産に繋げている。